



# ICANN72 政府諮問委員会(GAC) リモート会合報告

---

2021年12月14日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

森下 大

# 目次

---

1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要
2. 主な議題
3. その他

# 1. 政府諮問委員会(GAC)リモート会合の概要

- ① 開催日:2021年10月25日(月)～10月28日(木)  
※ 2021年の3回目(C会合:年次総会)
- ② 開催地:シアトル(アメリカ合衆国)  
→ 新型コロナウイルス感染症の影響からリモートで開催
- ③ 出席者:71か国・地域の政府、5の国際機関等(オブザーバー)
- ④ 主な議題:
  - (1) DNS不正利用 ← **総務省から発表を実施**
  - (2) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合
  - (3) At-Large諮問委員会(ALAC)との会合
  - (4) その他

# 2. 主な議題

## (1) DNS不正利用

### 1. 概要

- DNS不正利用の防止・軽減に向けたICANN組織及びICANN内のコミュニティのイニシアティブの検討をGACにおいて継続することに関する議論が行われた。
- DNSの不正利用に対するGACによる実現可能な具体的提案について、継続して議論していく。

### 2. 総務省からの発言

(参考) <https://gac.icann.org/sessions/icann72-session-3-dns-abuse-mitigation>

- DNS不正利用の関係で、「レジストラホッピング」の事案を紹介し、契約遵守の観点からGACにおいて議論を進めることを提案した。  
→ 総務省の発言が、GACのコミュニケ(成果文書)に記載された。

#### 1. 概要

- レジストラホッピングの概要<sup>(※1)</sup>、一連の流れ、その目的を説明資料の図を使いつつ説明。

#### 2. レジストラホッピングの課題

- 第三者がレジストラへの働きかけを継続的に行ったとしても、ドメイン名の移転により、第三者は同じ手順を繰り返すこと。
- レジストラ認定契約(RAA)<sup>(※2)</sup>では、レジストラはドメイン名の悪用に対する報告があった場合、適切な調査が義務づけられているが、移転してしまったレジストラへ調査可能か不明な点。

#### 3. 日本からの提案

- レジストラホッピングの問題や対応への必要性について、契約の規定を遵守する観点<sup>(※3)</sup>からGAC内で議論すること。

※1 第三者がドメイン名の不正利用の報告をレジストラに行うたび、不正行為者がドメイン名の登録を他のレジストラへ移行する。

※2 RAA3.18 「レジストラ」の悪用対応担当者、および悪用の調査報告に関する義務。

(一部抜粋)3.18.1 「レジストラ」は、悪用の報告について、適切な調査および対応のための合理的な措置を速やかに講じるものとします。

※3 GAC及びPSWGがDNS不正利用に対して、ICANNとレジストリ・レジストラによる契約の規定の観点から対処する姿勢であるため。

## 2. 主な議題

### (1) DNS不正利用

#### 3. 主な発言

##### 【LAUREEN KAPIN PSWG共同議長の発言】

- DNSシステムの不正利用がサイバー犯罪の一部となっていること、GACがDNSシステムを要因としたサイバー犯罪に注目していること、DNSシステムの安全性と持続性を保護することがICANNの中心ミッションである。
- 最近のICANN GAC会合のコミュニケで採択されたDNS不正利用に関する記事を発表すると共に、GACにおいてDNS不正利用に対する実現可能な具体的な提案を議論していく。

##### 【GABRIEL ANDREWS氏(FBI)の発言】

- 2021年8月に実施したICANNコンプライアンス部門によるDNS不正利用に関するレジストラへの監査の結果について報告があり、126のレジストラを監査し、111のレジストラがコンプライアンスを遵守していないことが判明し、92のレジストラが改善に向けて行動を取っており、引き続き動向を注視していくこと、19のレジストラは改善を完了した旨の発言があった。
- SSR2※(the Stability, Security ,& Resiliency Report)の勧告に対して、ICANN理事会から回答があり、DNS不正利用に関係する勧告の一部を受け入れることが難しいという回答をもらった旨の情報共有が行われた。

※ICANNの付属定款に規定された監査組織がDNSシステムのセキュリティや安定性等について評価してまとめた報告書

## 2. 主な議題

### (2) 分野別トップレベルドメイン名支持組織(GNSO)との会合

#### 1. 概要

- ICANNの分野別トップレベルドメイン支持組織(Generic Names Supporting Organization:GNSO)とGACの双方が関心を持つ政策問題(EPDP Phase 2A、データの正確性、DNS不正利用等)について議論した。

#### 2. 会合における主な議論

- PAM LITTLE(GNSOメンバー)より、「登録データ正確性評価チーム(Registration Data Accuracy Scoping Team)」が10月上旬に発足したこと、作業計画とタイムラインの策定を策定し、データの正確性に関する定義の作成を行う旨の発言があった。
- TATIANA TROPINA(GNSOメンバー)より、DNSの不正利用の定義について、GACとGNSOが共通の理解を得られていないこと、GNSO内で定義に関して議論を進めていること、DNS不正利用の問題についてGACとGNSOでポリシーの策定を行いたい旨の発言があった。この発言に対して、MANAL ISMAIL(GAC議長)より、GACとGNSOで共通の理解が得られるよう継続して議論する旨の発言があった。
- Manal Ismail(エジプト)議長から、国際政府組織(IGO)の名称保護に関するEPDP\*策定チームがパブリックコメント用の暫定報告書を取りまとめた旨の説明があった。

\*国際政府組織(IGO)の名称や略称について、新gTLD導入(2022年目処)の際、これらの名称や略称を予約語として保護することを目的としている。

## 2. 主な議題

### (3) At-Large諮問委員会(ALAC)との会合

#### 1. 概要

- At-Large諮問委員会(ALAC)は、ICANNの諮問委員会の1つであり、個人インターネットユーザーの懸念や声を伝えることを目的として設立され、GACとALACは、ICANN会合において定期的に会合を実施している。
- 今回は、ICANNにおけるGACとALACの役割、DNS不正利用に関するICANNの役割などについて、議論がなされた。

#### 2. 主な議論

- JOANNA KULESZA(ALACメンバー)から、ICANNと政府の関係を促進するための方策として、GACやALACなど各コミュニティのシナジーを高めていくことが有効なのではという旨の発言があった。
- JONATHAN ZUCK(ALAC副議長)から、DNS不正利用の関係で以下の発言があった。
  - DNS不正利用への対処について、契約当事者(レジストリやレジストラ等)がICANNから付与された権限で行う事案と、権限外だが自身の業務で行う事案の境界線を認識することが重要である。
  - ICANNが権限外としているコンテンツへの不正利用に対して対処の検討が必要である。
  - 不正利用者への対処を目的とした規制が、正当な利用者に対して影響を及ぼすことの検討が必要である。
- NIGEL ROBERTS(英国)から、ICANNがDNS不正利用者に対して積極的に行動しても良いのではないかと提案と、ポリシー策定のプロセスよりも契約(RA・RAA等)変更が有効だと考える旨の発言があった。

# 3. その他

## ①ICANN理事会との会合

- GORAN MARBY (CEO) から、今回の会合において、両者の関係が強化されることを期待している旨の発言があった。
- Olivier Bringer (欧州委員長) から、ICANNの会合を英語以外の言語も用いて開催する旨の提案があり、他国の代表からも賛同を得ていた。

## ②GAC副議長選挙

- GAC副議長(5議席)の改選が行われ、以下の5名が来年から副議長を担うこととなった。

### 議長 (任期2021年3月～23年3月 (2年))

<任期 2 期目>



**Manal ISMAIL**  
(Egypt)

国家電気通信規制庁

### 副議長 (任期2022年3月～23年3月 (1年))

<現職>



**Par Brumark**  
(Niue)

IT政府高官

<新規>



**Francis Olivier**  
**Cubahiro**  
(Burundi)

ICTインフラ部門長

<新規>



**Shi Young Chang**  
(Republic of Korea)

インターネット  
振興院 副研究長

<新規>



**Jaideep Kumar**  
**Mishra** (India)

電子工学・通信技術省  
共同秘書

<新規>



**Ola Bergstrom**  
(Sweden)

郵政通信機関 国際部門長



# (参考)ICANNの概要

## Internet Corporation for Assigned Names and Numbers

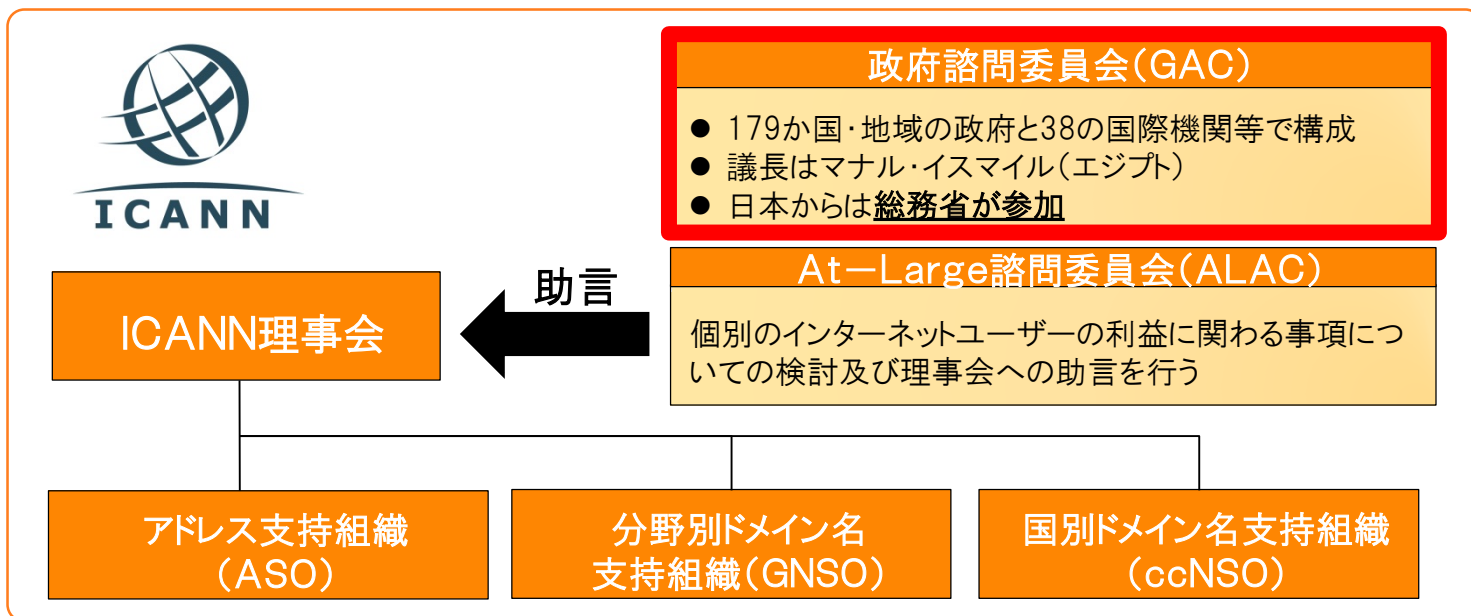
- 1998年に設立された非営利法人(本部:米国ロサンゼルス)。事務総長兼CEOはヨーラン・マービー(スウェーデン出身)。
- マルチステークホルダーによる監督の下、インターネットの重要資源の世界的な管理・調整に係る以下の業務を実施。
  - IPアドレスの割当およびドメイン名に関する調整。
  - ルートDNSサーバー・システムの運用および展開の調整。
  - 上記の技術的業務に関連するポリシー策定の調整。等
- 毎年3回、各ステークホルダーが参加する会合を開催。総務省は、政府諮問委員会(GAC)のメンバーとして会合に参加。

### (組織図)

IANA機能\*の運用を委託



\* IANA機能:  
IPアドレスの分配、DNSルートゾーンの管理などを行うこと



## (参考)参考URL

---

(1) ICANN72 GACリモート会合のコミュニケ(成果文書)

<https://gac.icann.org/contentMigrated/icann72-gac-communicue>

(2) ICANN71 GACリモート会合報告会資料

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/icann-report/20210805-ICANN/icann61-3-morishita.pdf>